

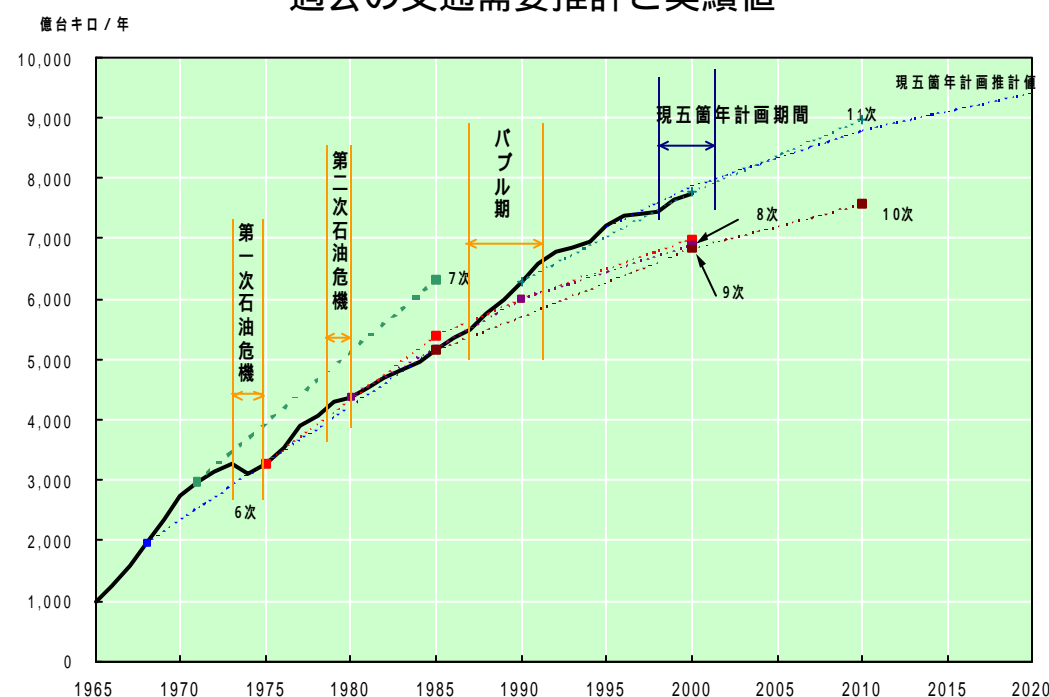
6. 自動車交通需要推計の見直し

- ・ 5年毎に自動車交通需要推計を見直し。
- ・ その結果を、道路ネットワーク計画、有料道路の償還計画、環境アセスメント、B/C等事業評価に反映。

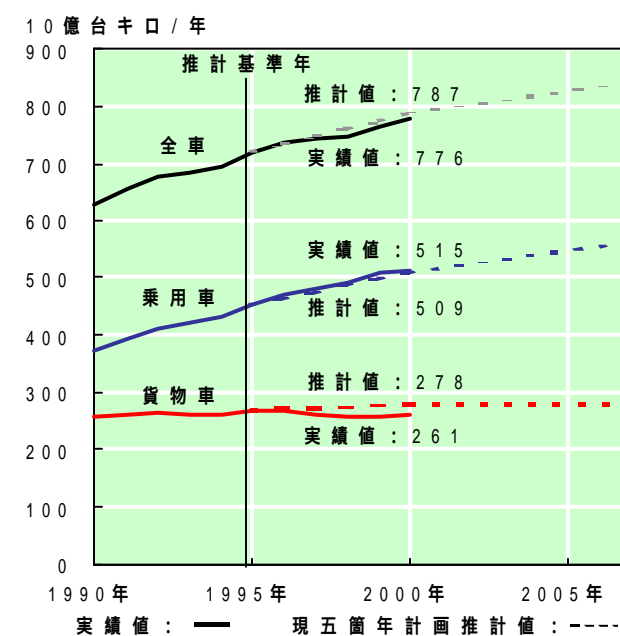
(1) 過去の交通需要推計と実績値

- ・ 過去の推計では、オイルショック、バブル経済等予期できないような社会経済情勢の変化がある場合は、実績値と大きな乖離。
- ・ 現五箇年計画（1995年基準）の推計値に対し、実績は1.5%減。特にGDPが8.3%減の影響で貨物車の交通量が6.5%減。

過去の交通需要推計と実績値



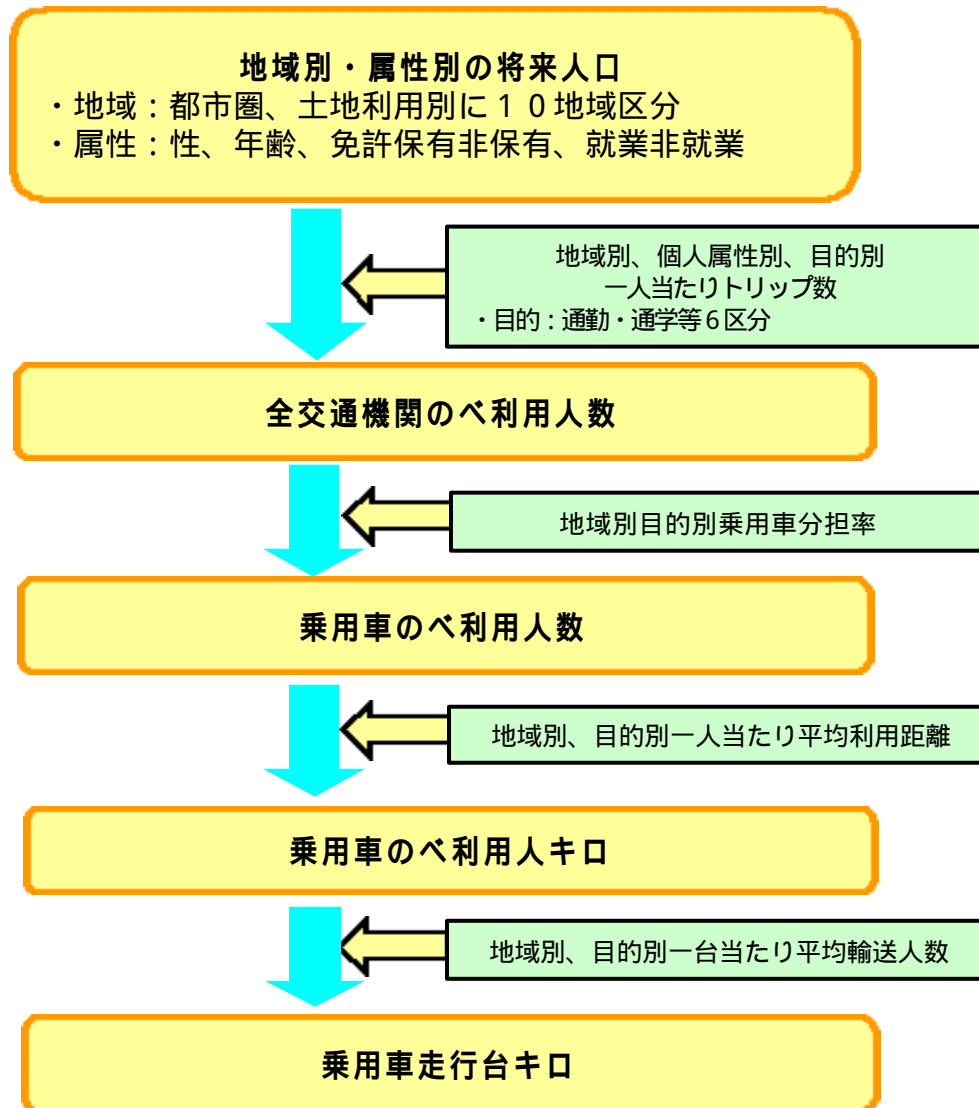
現五箇年計画推計値と実績値



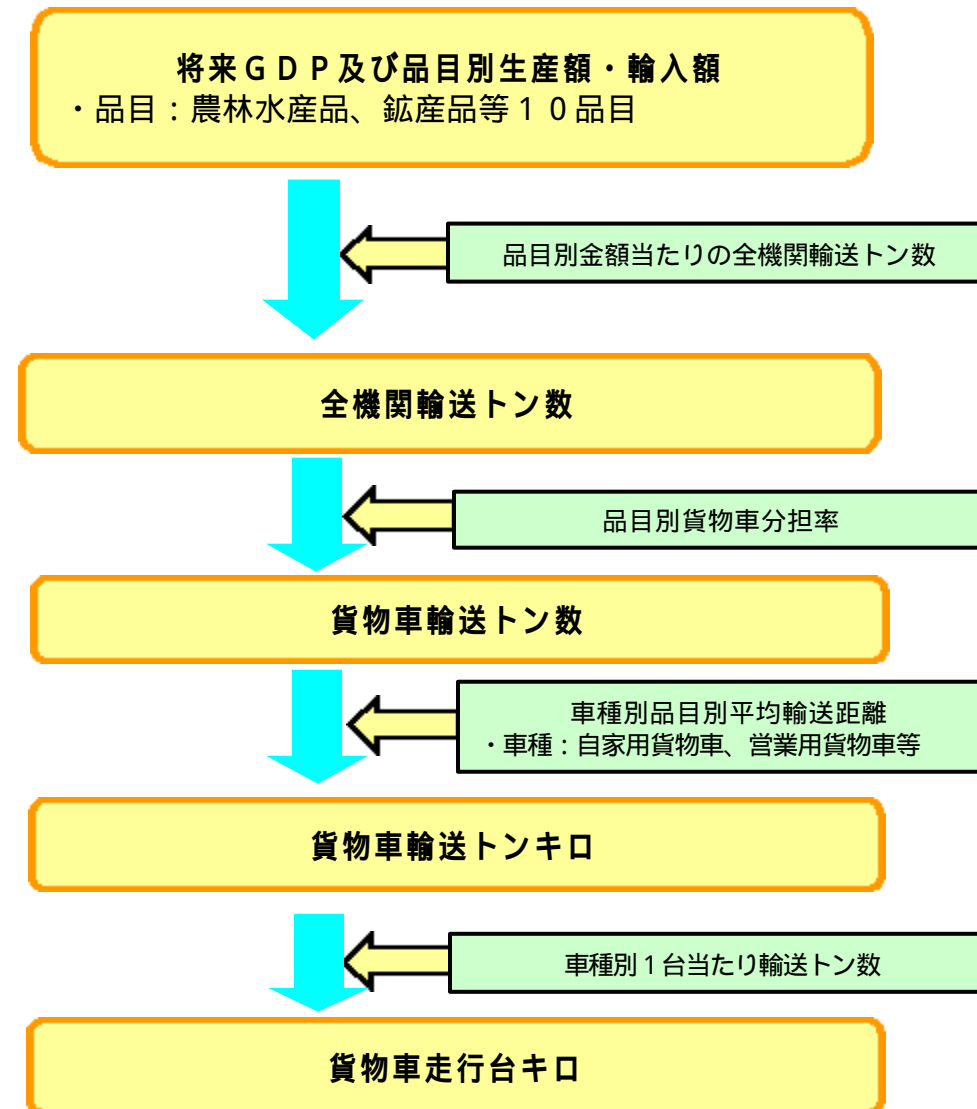
	走行台キロ (10億台キロ/年)			
	推計値 (A)	実績値 (B)	誤差 (C=B-A)	誤差率 (C/B)
乗用車	509	515	6	1.1%
貨物車	278	261	17	6.5%
軽貨物車	84	75	10	12.8%
軽貨物車以外	193	186	7	4.0%
全車	787	776	11	1.5%

(2) 新たな交通需要推計の手法について

乗用車の交通需要推計

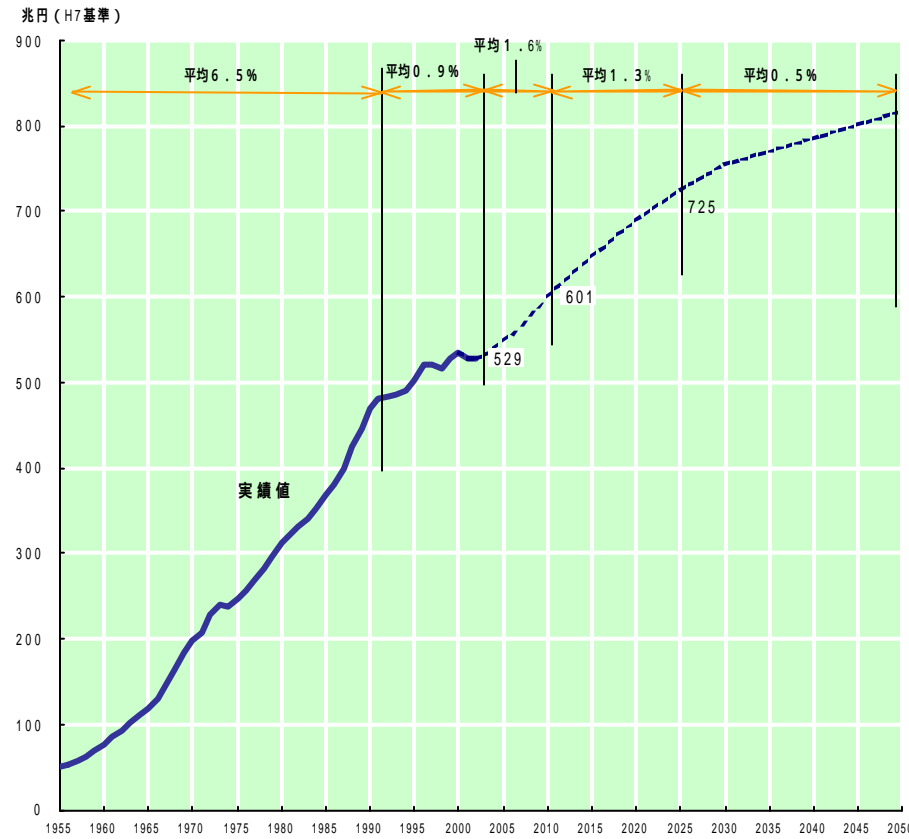


貨物車の交通需要推計

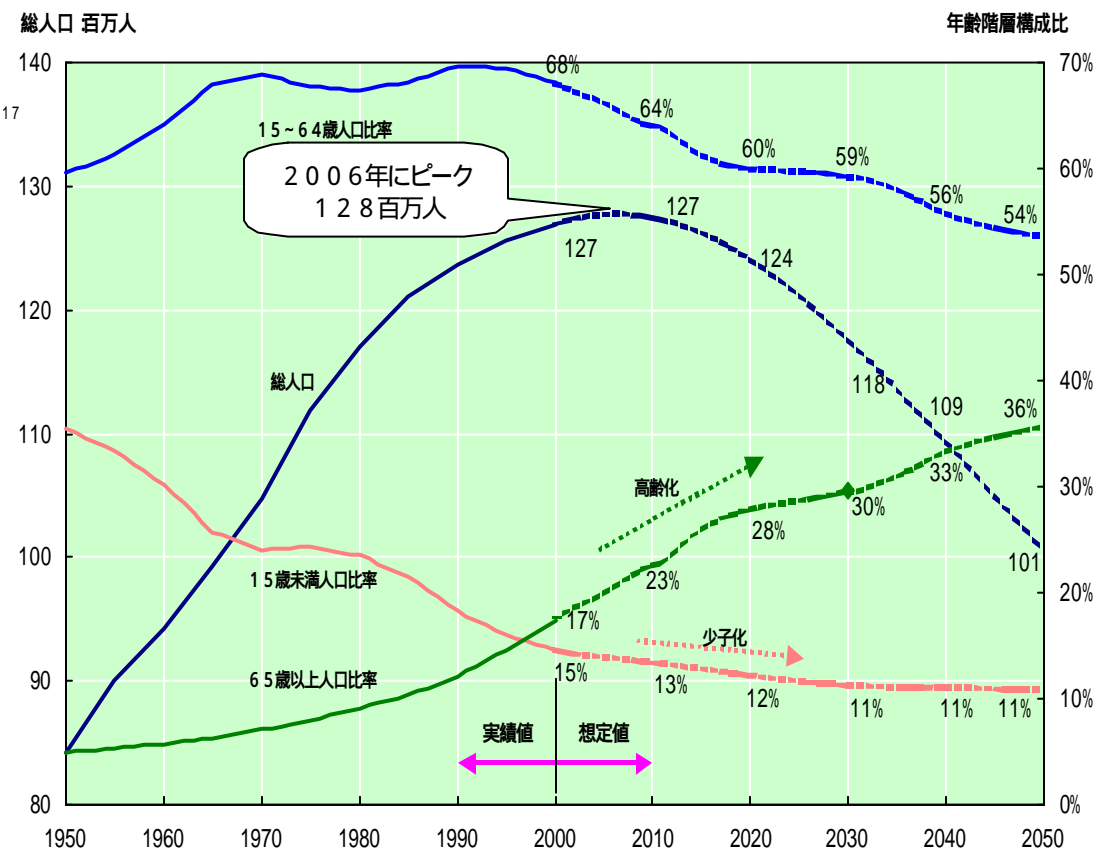


将来のGDP及び人口の設定

将来のGDPの設定



将来の人口の設定



(2002~2010年度)

「構造改革と経済財政の中期展望」(平成14年1月25日閣議決定)及び同参考資料(内閣府作成)で示された推計値

(2011~2025年度)

国土交通省国土計画局において示された推計値

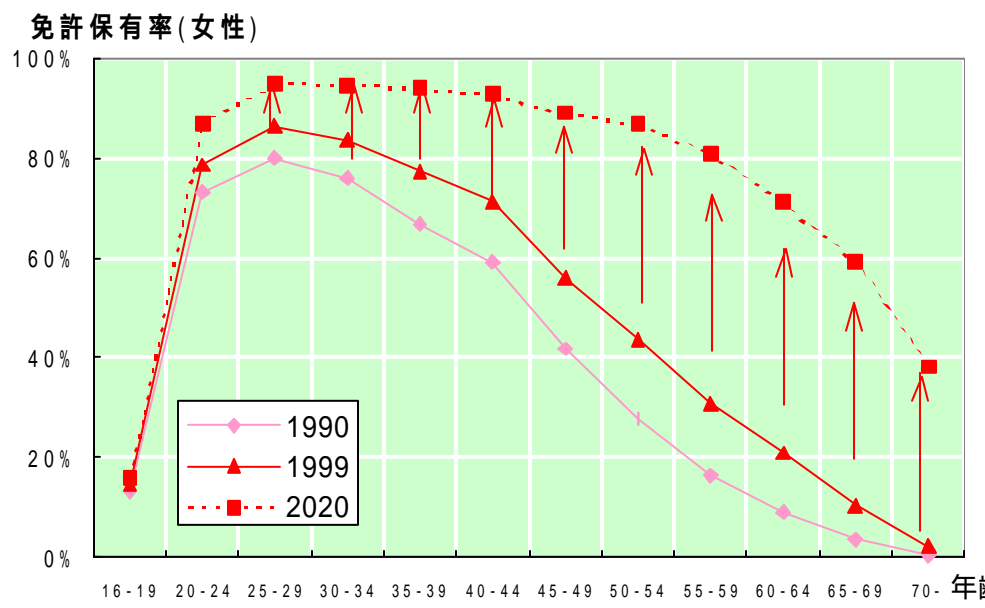
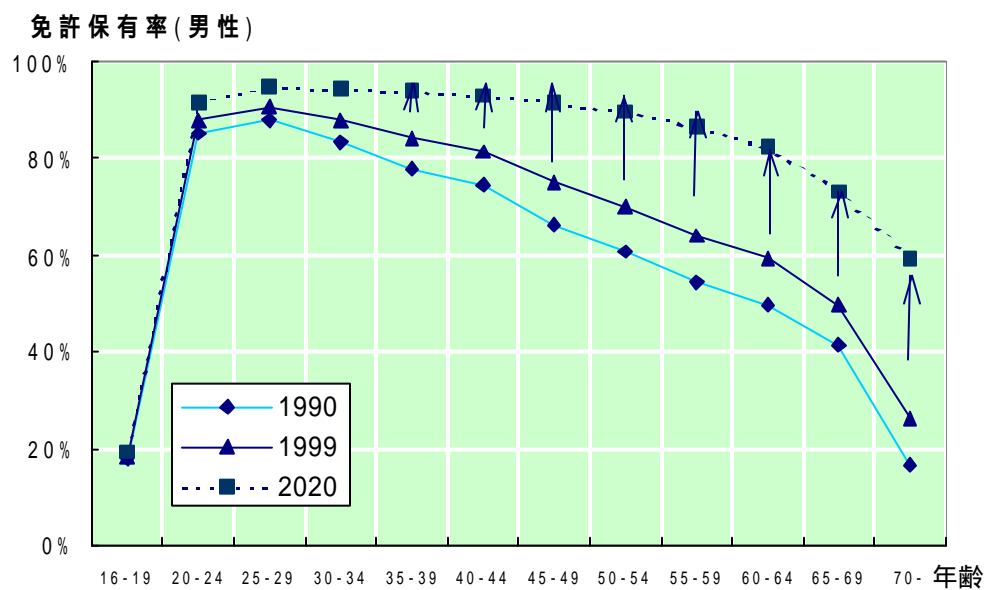
(2026~2050年度)

国土交通省国土計画局からの知見を参考とした道路局の推計値

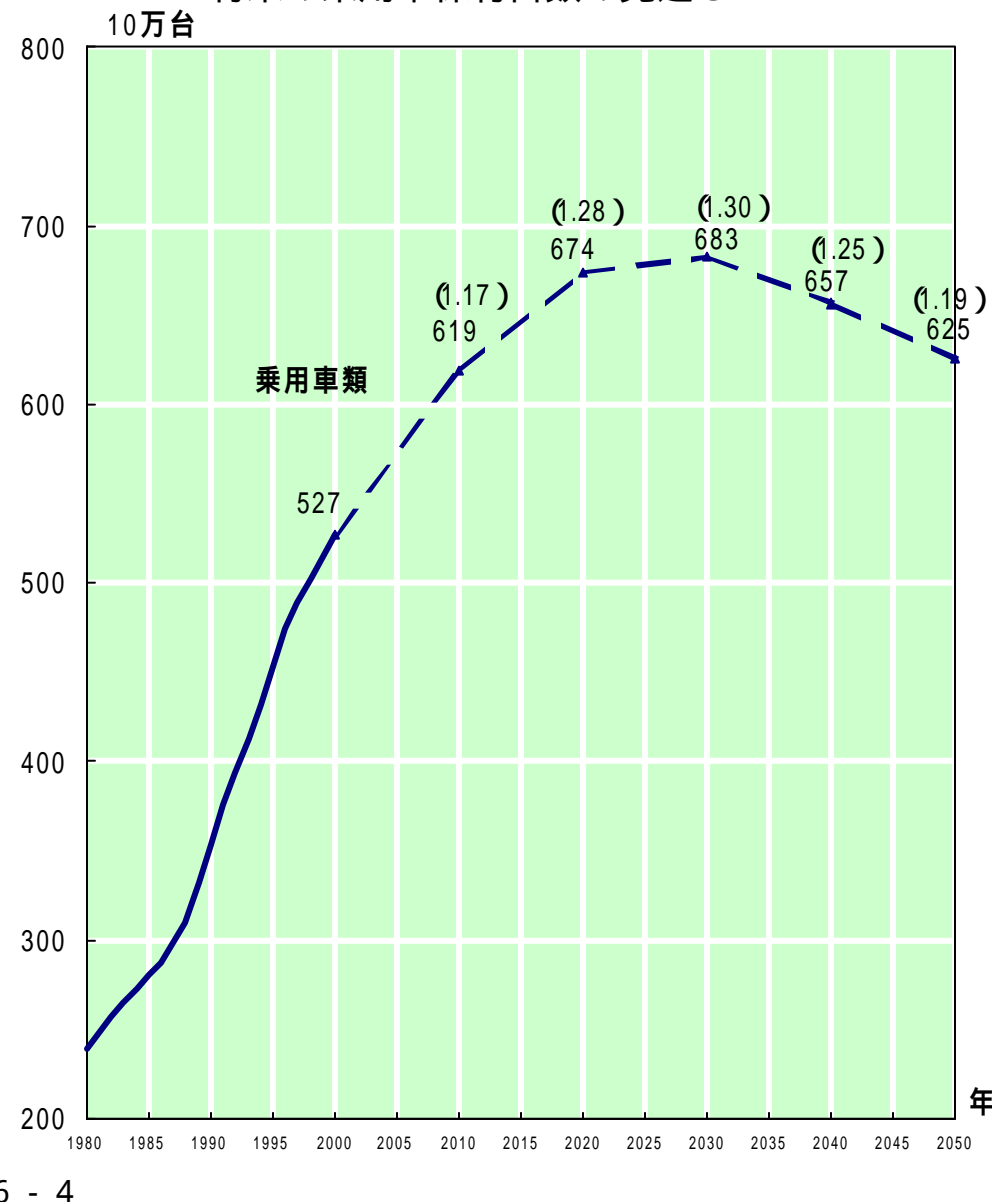
国立社会保障・人口問題研究所において2002年1月示された推計値のうち、中位推計値

免許保有率と乗用車保有者台数の見通し

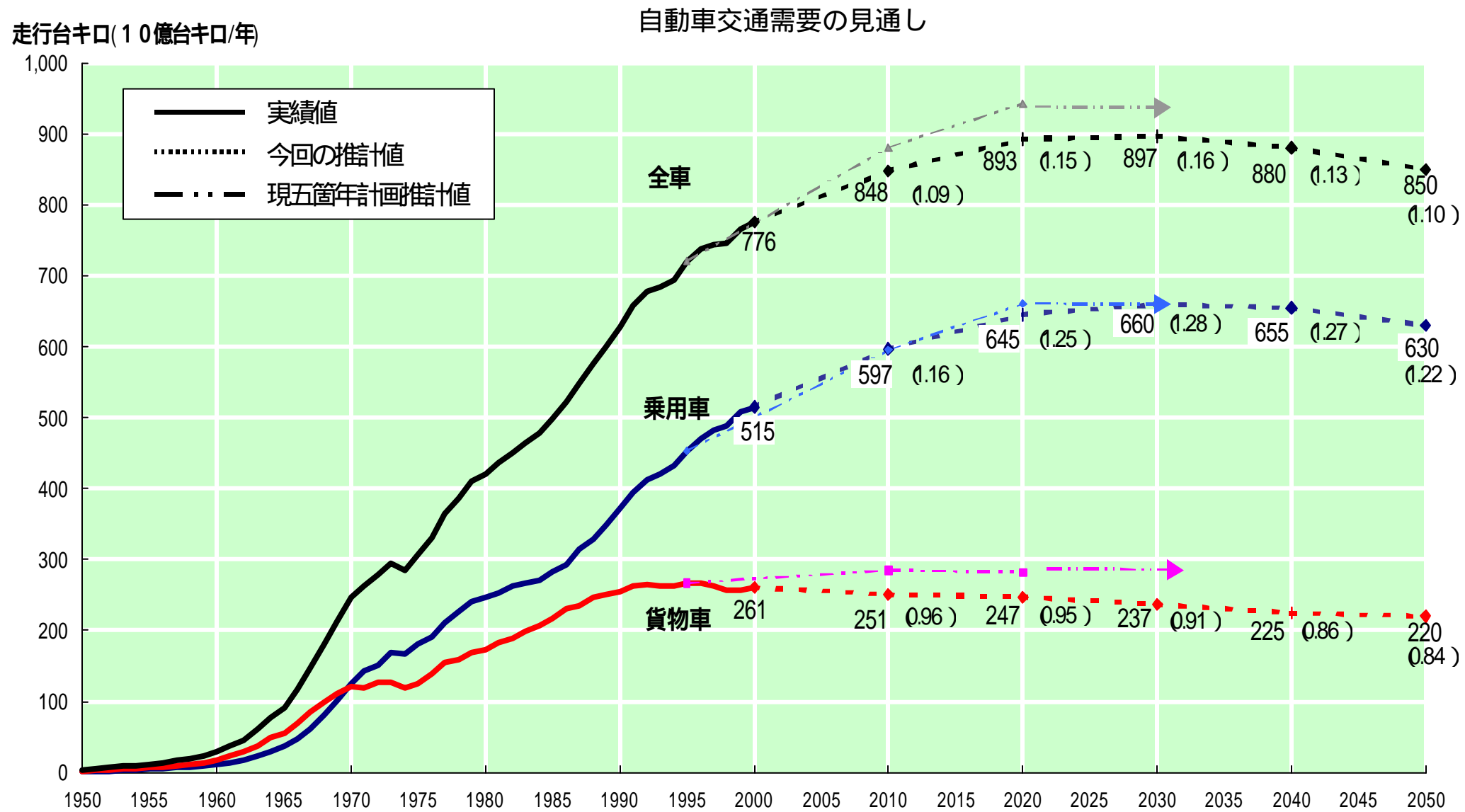
将来の免許保有率の見通し



将来の乗用車保有台数の見通し



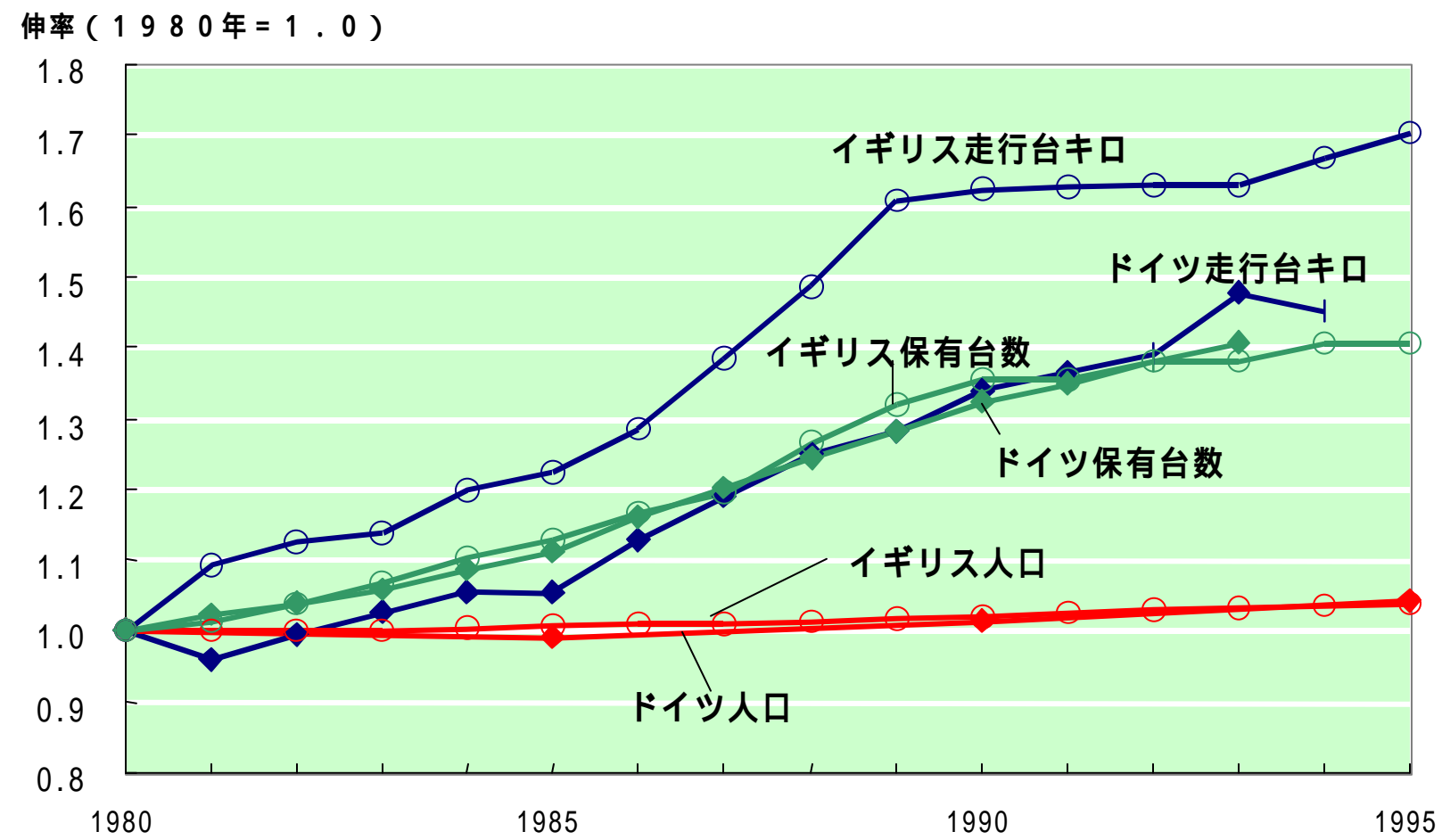
自動車交通需要の見通し



()内の数値は2000年比率

参考：海外の事例

- ・ドイツ、イギリスでは人口は1980年からほぼ一定であるが、交通量（自動車走行台キロ）は増加している。



出典) 走行台キロ、保有台数：「World Road Statistics, IRF」
人口：「National Accounts 1960-1995, Volume1, OECD, 1997」